

Title	京大広報 No. 496
Author(s)	
Citation	京大広報 (1995), 496: 1080-1089
Issue Date	1995-12-15
URL	http://hdl.handle.net/2433/209137
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

京大広報

No. 496

京都大学広報委員会



本部地区自衛消防団による放水訓練 —関連記事本文1081ページ—

目 次

<大学の動き>

- 井村総長，連合王国およびオランダ王国訪問……1081
年末年始の火災予防と特別防火演習……1081
自衛消防団員に感謝状贈呈……1081
京都大学市民講座
「しらべる」講演要旨（その2）……1082

—公開講座—

- 文学部博物館
「日本近世の医学史と外科書」……1083

<紹介>

- 大型計算機センター……1084
—京都大学の百年（第14回）—
草創期学生運動の群像……1086
計報……1087

<コラム>

- 木が気になる 桑原正章……1088
日誌……1089
『京大広報』に対するご意見について（お願い）……1089

＜大学の動き＞

井村総長、連合王国および
オランダ王国訪問

井村総長は、11月21日から連合王国およびオランダ王国に出張し、11月27日帰国した。

連合王国では内分泌学会のアジア・オセアニアメダル受賞記念特別講演を行うとともに、シンポジウムに参加した。その後、ブリティッシュ・カウンシルを訪問して、学術交流について意見交換を行った。

オランダ王国ではユトレヒト大学およびマースリヒトにあるリンブルク大学を訪問し、伝統的な大学と新しい大学のそれぞれ特色ある高等教育、学術研究の現状を視察するとともに、今後の学術交流について学長等と懇談した。

年末年始の火災予防と特別防火演習

本学教職員ならびに学生諸君には、日頃から火災予防にご協力願っているが、年末年始の火災多発期を控え、一人一人が防火についての認識と理解をなお一層深めるようお願いしたい。また、消防署による本年の立入検査の結果、喫煙管理の徹底、可燃物の除去、ガス器具の使用法の改善、ボンベの転倒防止措置、コンセントの取替、電気器具の清掃等種々の事項が指示され、これらについては逐次改善されているところである。この機会にそれぞれの場において、これらの指示事項に留意し、防火管理の強化および消防用設備の点検等を実施のうえ、改善を要するものについては、早急に措置されるようお願いする。

本学には、学内の火災事故に備えて、自衛消防団が置かれているが、本部地区自衛消防団による恒例の年末特別防火演習を12月4日（月）午後2時より実施した。当日は、工学部の協力により工学部2号館大会議室から出火したものと想定し、通報連絡、初期消火、避難誘導、救出、物品搬出等一連の総合訓練を行い、自衛消防団の消防車による活動のほか、左京消防署からも数台の消防車が出動して、合同の消防訓練等を行った。

なお、午後3時より左京消防署指導のもと消防車による放水訓練を行った。

また宇治地区では12月6日（水）に実施され、病院地区では12月22日（金）に実施される。



（経理部）

自衛消防団員に感謝状贈呈

12月4日（月）午後3時30分から事務局長室において、自衛消防団員に対して総長からの感謝状および記念品が中林事務局長より贈呈された。

この日感謝状を受けた団員は、木村重雄（基礎物理学研究所）、田川義人（理学部）、祖上義一（医学部附属病院）、和田孝雄（ウイルス研究所）の各氏である。

なお、当日午後2時から、自衛消防団による演習が行われ、日頃の訓練成果が披露された。



＜京都大学市民講座「しらべる」講演要旨（その2）＞

京都大学市民講座の講演要旨を前号（495号）に
続いて掲載する。

経 済 を し ら べ る

経済学部教授 瀬地山 敏

問題が与えられているときでも、問題の「なにを（どの側面を）」、「どのように（どういう方法で）」調べるかにより、解答が違ってくるのは日常生活でも研究の世界でも同じであろう。意見の違いとはこの「調べ方」の違いであり、「正しい」意見とは対立する調べ方の角逐を生き抜いたものである。「しらべる」という作業が持つこの構造を知っておくと、経済あるいは経済政策を理解するのに、便利である。二つの例をあげてみよう。

一つは古典的な例で、1920年代から30年代にかけて大量に発生した失業問題をめぐる論争。伝統的な考えは、社会を単に個人の集合であるとみなし、労働者が高い賃金を要求するから失業が発生するとみなした。したがってその解決策は賃金の切り下げである。これは社会問題である失業を個人（ミクロ）の次元でとらえ、さらには労働市場を他の市場から切り離して理解したわけである。これに対し社会は個人を集計しただけでは理解できず、集計量と集計量の間には固有の関係があるという、マクロ的認識が登場する。それによれば賃金を引き下げると社会の消費が低下し、そのため将来の収益見込みが悪化するので投資が減少し、総需要（投資と消費の和）が減り、したがって労働需要が低下して失業が増える。この認識は「マクロ経済学」誕生の基礎となった。

もう一つの例である日米貿易摩擦をめぐる協議は、「調べ方」が次々に変わっていった典型的な交渉であった。最初は半導体などミクロの個別市場を取り上げ、次は貯蓄—投資—輸出—輸入というマクロの関係に注目し、さらには同じマクロでも、経常収支（輸出—輸入）にほぼひとしい資本の流出があるという関係を引き合いに、日米経済の様式を相互に説得しようとつとめた。

（平成7年10月21日講演）

物質の微細な構造をしらべる

化学研究所教授 小林 隆 史

生物が種々の感覚器官を通じて得ている多くの外界に関する情報のうち、視覚的に捉えられる情報がとくに重要であることは、今日のテレビが社会に与える影響力の大きさから見ても、誰しもが認めることである。科学の世界においてもこれは例外ではない。そのため、とりわけ目では見えない微小な物質を、なんとかして見られないかという要求があり、そのための装置が種々発明され、開発されてきた。その結果、世の中の全ての物質構成の基本である、分子やその分子を形成している原子という超微小なものまで見ることのできる装置が開発された。電子顕微鏡がその装置である。

電子顕微鏡は高エネルギーの（高速に加速された）電子の流れを光源とし、磁場可変の強力な電磁石をレンズとした顕微鏡であり、その拡大倍率は数百万倍、分解能、すなわち分離して認められる二点間の最小距離は百億分の一メートル（0.1 nm）にも達する。電子顕微鏡には、物質の表面を立体的に観察できる走査型電子顕微鏡（SEM）と、三次元構造を持った試料の二次元投影像を観察する透過型電子顕微鏡（TEM）があり、それぞれの特徴を生かして用いられている。とくに後者は、今日、原子、分子を観察するために必要不可欠な装置となっている。

化学研究所に設置されている透過型の電子線分光型超高分解能電子顕微鏡は、拡大して観察している試料の微小な一部分を選択し、その部分の構造を明らかにすると共にその部分の分析を行い、元素の種類やその割合を定める事ができる。それに加えてさらに、物質の個々の性質を支配している結合の状態や電子のエネルギー状態もミクロに調べ、しかもそれら特定の原子や結合が試料のどの部分にあるかも見る事ができるという、超高分解能電子顕微鏡としての機能と微小分光装置としての機能を兼ね備えた最新の装置である。試料を液体ヘリウムの温度に冷やして観察できる装置もあり、生物試料、高分子試料、金属、半導体、有機結晶等ほとんど全ての物質の微細な構造を詳細に調べることができる。

（平成7年10月28日講演）

身体の中をしらべる

—形とはたらき—

医学研究科教授 小 西 淳 二

外から見ることの出来ない身体の中を、生きている状態でしらべるには、おもに二つの方法が用いられている。一つは、血液や尿などの試料をとってしらべる生化学検査を中心とする検査法であり、もう一つは身体の内側の形や働きを画像として取り出す画像診断法である。このうち画像診断法の歴史はレントゲンによるX線の発見（1895年）に始まる。X線による透視、写真撮影はその発見直後より医学に応用され、「身体の中を透かしてみたい」という人類一般に共通した欲求が実現することとなった。

1972年に画像診断の100年の歴史の中でも特筆すべき画期的な進歩がもたらされた。それはハunsフィールドによるX線CTの開発である。それまでの画像が単にX線の透過像であったのに対し、CT（computed tomography、コンピュータ断層法）では、透過X線の強さをコンピュータ処理することにより、身体の断面像を計算により再構成する。以来、このCT技術は現代画像診断法のなかで中心的役割を果たしている。

1950年以来二重造影法による消化管診断、内視鏡の開発、超音波断層法の開発など日本人の果たした役割も大きい。1980年には核磁気共鳴画像法が実用化され、その臨床応用が急速に発展した。

これらの画像診断技術の進歩により、微細な病変の検出が可能となる一方、臓器局所の血流や代謝の評価にはラジオアイソトープを用いる核医学検査が用いられている。ガンマ線放出核種の体内分布を断層像で表示するSPECT（single photon emission CT）のほか、ポジトロン放出核種を用いるポジトロンCTも脳、心臓や腫瘍の診断に活用されつつある。

今日の画像診断では、形とはたらきの両面から最適の方法をうまく組合せ、早く、かつ非侵襲的に、的確な診断を附けることが望まれており、コスト効果比の向上という視点も加えて、画像情報の有効利用をはかる必要がある。

（平成7年10月28日講演）

—公開講座—

文学部博物館

「日本近世の医学史と外科書」

文学部博物館では、平成7年秋季公開展示「外科書の世界」にあわせ、11月4日から12月2日までの間、4回にわたり土曜日の午後1時30分から4時まで、同講演室において第17回公開講座「日本近世の医学史と外科書」を開催した。本学教官1名のほか3名が講師となった。日本近世における外科・外科書の発展や、伝統的身体観の変化などを考えようと42名が受講した。

講義題目、講師は次のとおりであった。

内景図を読む

大阪市立大学文学部教授 三 浦 國 雄

京都における外科—伊良子家を中心に—

順天堂大学医学部教授 酒 井 シ ズ

山脇東洋の観臓とその反響

京都医史学会会長 杉 立 義 一

画家と外科書

京都大学文学部教授 佐々木 丞 平

（文学部）



<紹介>

大型計算機センター

大型計算機センターは、全国の大学、高等専門学校などの研究者が、学術研究に伴う計算や情報の処理を行うための全国共同利用施設である。昭和44年（1969）1月から運用を開始し、常に世界最高速の計算機システムを設置して、大規模の科学技術計算の要求に応えてきた。

本センターの現在の主なシステムは、スーパーコンピュータが Fujitsu VP2600E と VPP500、汎用コンピュータが Fujitsu M1800E である。（図参照）VP2600E はベクトル型スーパーコンピュータで、最大性能は 5.5GFLOPS（1秒間に 10^9 回の浮動小数点演算を行う能力）である。VPP500 は、ベクトル型スーパーコンピュータを並列に配置したもので、最大性能 1.6GFLOPS のコンピュータを15台有する。利用者の科学技術計算用 FORTRAN プログラムなどが高速に処理され、流体力学、構造力学、分子動力学などの最先端の研究に大いに利用されている。

コンピュータによる情報処理技術の進展に伴い、本センターも多様な利用に対応してきた。画像処理、データベース（情報検索）、コンピュータとネットワークの融合利用などが挙げられる。

画像処理は設立当初からの種々の専用システムが導入されてきた。現在、M1800E と連携して利用する FIVIS（昭和62年3月運用開始）に加えて、ワークステーション（WS）で世界的に広く使用されている画像処理用アプリケーションプログラム AVS を導入している。ハードウェアとしては、計算結果などの可視化システムとして ONYXRE² を、利用者が研究室の WS から AVS を利用するシステム（AVS サーバ）として Power Challenge を設置し、平成7年度から運用を開始した。

データベースは、昭和54年4月から汎用コンピュータで、文献検索のためのシステム（FAIRS）とリレーショナルデータベース（RDBII）を運用している。INSPEC のようにセンターが維持しているものもあるが、学内外の研究者によって構築され維持されているデータベース

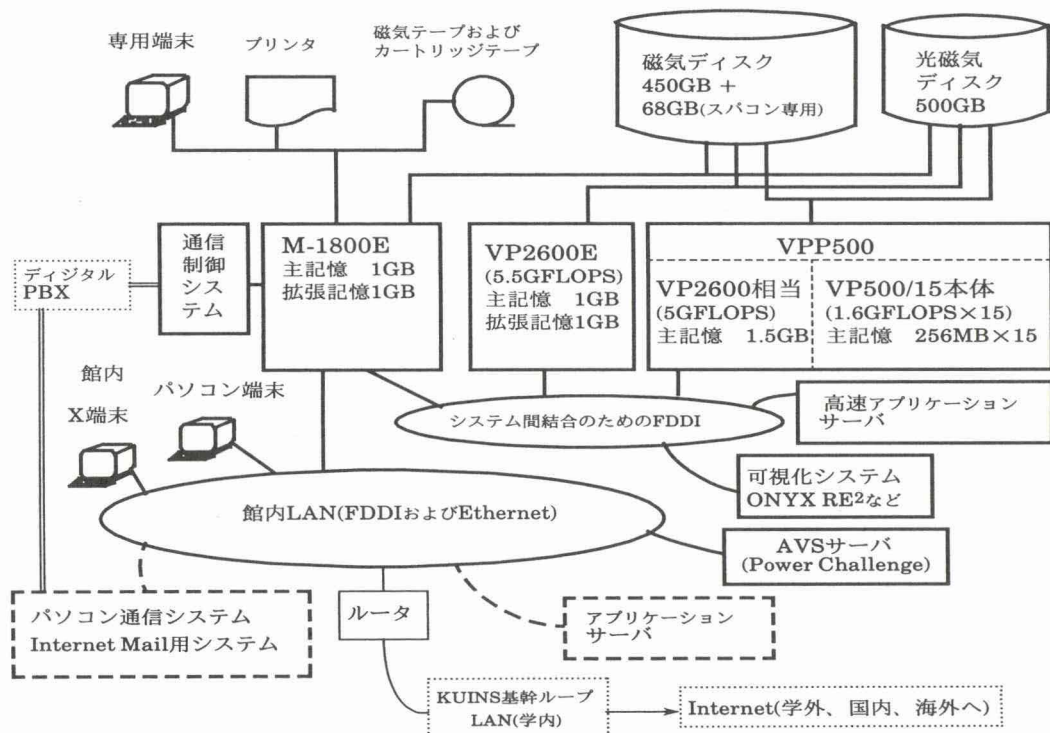


図 システム構成の概要図（平成7年度末予定）

(唐代の詩人李商隱の樊南文集、漢籍叢書所蔵目録、続日本紀(全文)、最高裁判所民事判例(全文)など)に特色がある。さらに、多様なデータベースを提供できるよう今年度末設置するアプリケーションサーバに、広く使用されているSYBASEというシステムを導入する。また、センター発行の利用の手引や講習会資料をオンラインで検索し、端末へ表示するための全文データベースのためのシステムを導入し、文書の電子化を一層推し進めたいと考えている。

本センター内には学術情報ネットワーク機構(通称 KUINS 機構)が置かれ、京都大学のネットワークの運用、維持、管理、改善を行っている。さらに、京滋地区の大学や研究所などを結ぶ地域ネットワークを構築するとともに、全国共同利用として、第5地区(京都府、滋賀、富山、石川、福井、鳥取、島根の各県)を主としたグループ NCA5 を構成し、ネットワークに関する技術情報などを交換している。

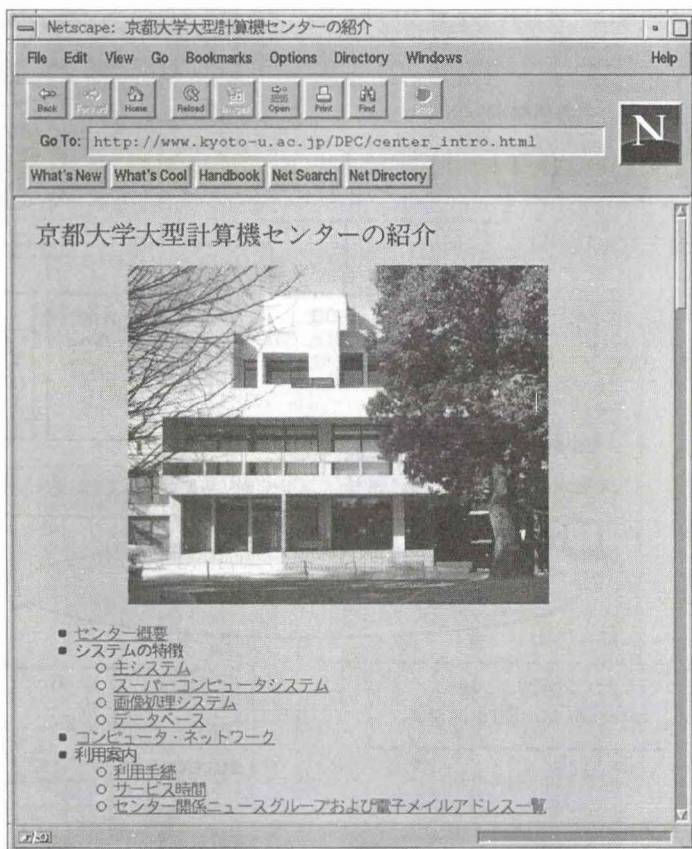
ネットワークに密接した利用として電子メールとニュースがある。インターネットメールとニュースは汎用コンピュータの UNIX 系システムで運用している。IBM 系システムでは Bitnet を運用している。しかし、電子手帳のようなものからでも手軽に、いつでも、利用できるようにするため、今年度末に一般社会でサービスされているパソコン通信システムと同等のものを導入する。電話回線に接続されたパソコンから電子メールや電子会議室といったパソコン通信が可能になる。

さらに、インターネットメールとニュースの他に、今世間で話題になっている WWW (World Wide Web) を本格的に運用するためのシステムを導入する予定である。電話回線に接続されたパソコンからインターネットメールやニュースを手軽に送受できるほかに、Netscape などの WWW ブラウザにより、世界中の情報を読んだり、観たり、聞い

たりできる。一方、京都大学から情報を発信するための WWW の Home Page については、本センターが作成を担当し、各部局等の Home Page との連携を図っている。

WS と UNIX の普及とともに、研究者、ソフトウェアメーカーなどの作成したプログラムを使用することが多くなってきた。今までも、SPSS、SAS、Nastran、Gaussian など多くのアプリケーションプログラムを導入してきたが、より充実させるために、アプリケーションサーバを今年度末に導入する。数式処理プログラム Maple V、数値計算プログラム MATLAB、画像処理関係のプログラムなどを利用できるようにする。さらに、高速アプリケーションサーバは、VPP500 と同等の演算処理能力をもったマシンで、高速演算を必要とするアプリケーションプログラムの開発、運用を目指している。

以上のように、本センターは単なる計算のためのセンターではなくて、広く情報処理一般の利用に対応できるように多種、多様なシステム(ハー



(学内便)

平成 年 月 日

広報委員会 御中

(庶務部広報調査課)

職名等	氏名
事務主任	佐々木 清一
庶務係長	山田 隆夫
庶務係員	鈴木 一郎
庶務係員	高橋 三郎
庶務係員	中村 健二
庶務係員	小林 秀雄
庶務係員	西村 正樹
庶務係員	山口 雅也
庶務係員	石川 浩二
庶務係員	渡辺 信子
庶務係員	森下 美津子
庶務係員	松本 由紀子
庶務係員	斎藤 千恵子
庶務係員	清水 裕子
庶務係員	山崎 幸子
庶務係員	村上 悦子
庶務係員	高木 洋子
庶務係員	坂井 英子
庶務係員	田中 真知子
庶務係員	佐々木 真理子
庶務係員	山田 久美子
庶務係員	鈴木 智子
庶務係員	高橋 静子
庶務係員	中村 明子
庶務係員	小林 百合子
庶務係員	西村 早苗
庶務係員	山口 朋子
庶務係員	石川 美穂子
庶務係員	渡辺 佳子
庶務係員	森下 奈子
庶務係員	松本 香子
庶務係員	斎藤 理子
庶務係員	清水 恵子
庶務係員	山崎 美穂子
庶務係員	村上 智子
庶務係員	高木 千恵子
庶務係員	坂井 真理子
庶務係員	田中 美穂子
庶務係員	佐々木 千恵子
庶務係員	山田 真理子
庶務係員	鈴木 千恵子
庶務係員	高橋 真理子
庶務係員	中村 真理子
庶務係員	小林 真理子
庶務係員	西村 真理子
庶務係員	山口 真理子
庶務係員	石川 真理子
庶務係員	渡辺 真理子
庶務係員	森下 真理子
庶務係員	松本 真理子
庶務係員	斎藤 真理子
庶務係員	清水 真理子
庶務係員	山崎 真理子
庶務係員	村上 真理子
庶務係員	高木 真理子
庶務係員	坂井 真理子
庶務係員	田中 真理子
庶務係員	佐々木 真理子
庶務係員	山田 真理子
庶務係員	鈴木 真理子
庶務係員	高橋 真理子
庶務係員	中村 真理子
庶務係員	小林 真理子
庶務係員	西村 真理子
庶務係員	山口 真理子
庶務係員	石川 真理子
庶務係員	渡辺 真理子
庶務係員	森下 真理子
庶務係員	松本 真理子
庶務係員	斎藤 真理子
庶務係員	清水 真理子
庶務係員	山崎 真理子
庶務係員	村上 真理子
庶務係員	高木 真理子
庶務係員	坂井 真理子
庶務係員	田中 真理子
庶務係員	佐々木 真理子
庶務係員	山田 真理子
庶務係員	鈴木 真理子
庶務係員	高橋 真理子
庶務係員	中村 真理子
庶務係員	小林 真理子
庶務係員	西村 真理子
庶務係員	山口 真理子
庶務係員	石川 真理子
庶務係員	渡辺 真理子
庶務係員	森下 真理子
庶務係員	松本 真理子
庶務係員	斎藤 真理子
庶務係員	清水 真理子
庶務係員	山崎 真理子
庶務係員	村上 真理子
庶務係員	高木 真理子
庶務係員	坂井 真理子
庶務係員	田中 真理子
庶務係員	佐々木 真理子
庶務係員	山田 真理子
庶務係員	鈴木 真理子
庶務係員	高橋 真理子
庶務係員	中村 真理子
庶務係員	小林 真理子
庶務係員	西村 真理子
庶務係員	山口 真理子
庶務係員	石川 真理子
庶務係員	渡辺 真理子
庶務係員	森下 真理子
庶務係員	松本 真理子
庶務係員	斎藤 真理子
庶務係員	清水 真理子
庶務係員	山崎 真理子
庶務係員	村上 真理子
庶務係員	高木 真理子
庶務係員	坂井 真理子
庶務係員	田中 真理子
庶務係員	佐々木 真理子
庶務係員	山田 真理子
庶務係員	鈴木 真理子
庶務係員	高橋 真理子
庶務係員	中村 真理子
庶務係員	小林 真理子
庶務係員	西村 真理子
庶務係員	山口 真理子
庶務係員	石川 真理子
庶務係員	渡辺 真理子
庶務係員	森下 真理子
庶務係員	松本 真理子
庶務係員	斎藤 真理子
庶務係員	清水 真理子
庶務係員	山崎 真理子
庶務係員	村上 真理子
庶務係員	高木 真理子
庶務係員	坂井 真理子
庶務係員	田中 真理子
庶務係員	佐々木 真理子
庶務係員	山田 真理子
庶務係員	鈴木 真理子
庶務係員	高橋 真理子
庶務係員	中村 真理子
庶務係員	小林 真理子
庶務係員	西村 真理子
庶務係員	山口 真理子
庶務係員	石川 真理子
庶務係員	渡辺 真理子
庶務係員	森下 真理子
庶務係員	松本 真理子
庶務係員	斎藤 真理子
庶務係員	清水 真理子
庶務係員	山崎 真理子
庶務係員	村上 真理子
庶務係員	高木 真理子
庶務係員	坂井 真理子
庶務係員	田中 真理子
庶務係員	佐々木 真理子
庶務係員	山田 真理子
庶務係員	鈴木 真理子
庶務係員	高橋 真理子
庶務係員	中村 真理子
庶務係員	小林 真理子
庶務係員	西村 真理子
庶務係員	山口 真理子
庶務係員	石川 真理子
庶務係員	渡辺 真理子
庶務係員	森下 真理子
庶務係員</	

(匿名でも結構です)

〔ご意見〕

[illegible]

ドウェア、ソフトウェア共に)を設置し、最新、最良の状態に利用者に提供し続けたいと努力している。今年度末に導入されるシステムは5月の連休明けには運用を開始したいと考えている。

本センターでは、全学共通科目の「コンピュータ概論」を開講している。また、工学研究科応用システム科学教室の協力講座として、「応用情報

学講座」を担当し、大学院生の研究指導を行っている。研究開発部には、情報システム研究室、ソフトウェア研究室、応用情報処理研究室がある。これらについては、紙面の都合で割愛する(『京大広報』No. 449, 564-565ページを参照いただきたい)。

(大型計算機センター)

—京都大学の百年(第14回)—

草創期学生運動の群像

大正6(1917)年3月1日午後7時、綾部町長楽座において開かれた「立憲思想普及会」の政談演説会の壇上には、高山義三・田万清臣・古市春彦・津田元一・阪田正行の、京大法科大学生5名の姿があった。弁論部の学生でもあった彼らは、大学を飛び出して、時の寺内「非立憲」内閣に非を鳴らす遊説活動を企てたのであった。当日、来会者はおよそ400名、5人はいずれも現政府反対の雄弁をふるい喝采裡に11時に閉会した、という(3月4日『京都日出新聞』)。しかし、次なる演説会を予定して、5日に宮津に至った学生たちのもとへ、大学から帰還を命ずる電報が送付された。学生たちはその後の遊説予定を中止して7日に帰洛、8日午後1時より山本良吉学生監のもとに出頭して取調を受けた。

この間、京大学生「政談演説事件」はすでに新聞各紙の伝えるところとなっていた。問題の要点は、学生たちの行動が大正3(1914)年に文部省が発していた学生演説取締の内訓に反するというものであったが、しかし学生たちの処分は是非をめぐっては大学内に賛否両論があった。当の法科大学では、市村光恵ら「少壮教授」が「絶対自由主義」を唱えて処分不可の立場であり、中島玉吉法科大学長は、学業懈怠、学生の本分に背馳するという点において今回の行動は問題、とする立場と伝えられていた(4日『大阪毎日新聞』)。また8日午前には雄本朗造・佐々木惣一両教授が山本学生監と懇談するところがあったという(9日『大阪朝日新聞』)。結局、8日午後の取調の結果、当初懸念された、学生たちが特定の政治団体から金銭的援助を受けていたのではないかという点は、事実無根であることが判明したので、大学当局は、処分としては最も軽い「訓戒」で決着をつけることとなった。

しかしなお問題は評議会の議題となり、8日の評議会では、学生の政談演説は今後「大体ノ方針トシテ之ヲ禁止」することが協議され、15日の評議会では、各分科大学長より「学生生徒ニシテ政治運動ニ従事スルハ学業懈怠秩序紊乱ニ流レ易キヲ以テ之ヲ禁止」する旨の訓示をなすことを決定し(以上、評議会議事録)、法科大学では翌16日、中島学長が学生一同を大教室に召集して訓示をなした。

田万は戦後の『有信会誌』創刊号(1954年)に、このとき処分をめぐって、荒木総長にじきじきに呼び出されたが、反対に総長をやりこめてやった、等という回想記事を寄せているが、真偽のほどは少し疑わしい。しかしこれらの学生たちが、この処分にちっとも懲りなかったことは明白で、高山は同年5月の友愛会京都第一支部結成にあたって、学生としてその支部長に就任するに至り、さらに翌大正7(1918)年には、高山らに、後輩でやはり法科大学生の水谷長三郎らを加えて「京都労学会」が結成された。東大新人会や早大建設者同盟にも先立つ、日本学生運動の源流とでも表現できる団体である。なお、高山らのその後の経歴は周知のことと思うが、念のため付記すると、高山は京都市長(1950~66年)、田万は衆議院議員(1936~45年、当選3回)、水谷は昭和3(1928)年の第1回普選で京都1区から衆議院に当選(以後当選12回)、片山・芦田両内閣の商工相である。

労学会の消滅以後、京大学生運動の中心になったのは社会科学研究会である。しかしこの社研に襲いかかったのが、大正15(1926)年1月の一斉検挙、すなわち、治安維持法の最初の適用事件である「京

都学連事件」であった。検挙者のなかには、のちの民族学者・石田英一郎、憲法学者・鈴木安蔵らがいる（石田は入獄、鈴木は執行猶予つき）。さらに昭和3（1928）年の3・15事件も社研関係者の検挙をもたらし、同年4月18日、京大大学当局は、社研に解散命令を下した。

昭和3年当時、水戸高校の3年生だった宇都宮徳馬と水田三喜男は、学連本部から要請を受けて、社研再建のため京大に入学した（宇都宮は経済学部・水田は法学部）。彼らは、和田耕作（経済学部）、勝間田清一（農学部）らとともに社研の再組織にあたり、大学側からは非公認の団体のまま、講演部や新聞部と結びついて積極的活動を展開したが、翌4年、4・16事件の後、学連解体のあとを追って、12月には最終的に京大社研も解体した。

のちの池田・佐藤両内閣の蔵相水田も、学生時代は間違いなくマルクス・ボーイであった。勝間田は、国会質問のとき、水田に対しては昔の友情で遠慮した、という。

（百年史編集委員会 伊藤孝夫）

訃 報

西 村 秀 雄 名誉教授

本学名誉教授 西村秀雄 先生は、10月17日逝去された。享年83。

先生は、昭和10年京都帝国大学医学部を卒業、同大学医学部助手、助教授を経て、同30年教授に就任、解剖学第三講座を担当された。昭和51年停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。この間、昭和50年4月から同51年3月まで京都大学医学部附属先天異常標本解析センター長を兼任された。

本学退官後は、昭和51年より財団法人日本実験動物中央研究所にて学術顧問として研究を続けられた。

先生は、ヒトの胎児医学、特に先天異常、ならびに実験奇形学に関する研究において数多くの優れた業績を残された。約4万例にのぼるヒト初期胎児の標本収集を推進し、これを用いた研究によってヒトの正常および異常発生学における貴重な新知見を多数発表し、斯界の発展に多大の貢献をされた。

また、日本先天異常学会、日本解剖学会、国際先天異常会議などにおいて要職を歴任されたほか、永年にわたり厚生省中央薬事審議会委員、世界保健機構（WHO）の専門委員等として厚生行政にも多大の貢献をされた。これら一連の教育研究活動、学界活動により、昭和49年11月紫綬褒章、同53年6月日本学士院賞、同54年1月医学研

究振興賞、同58年11月勲二等瑞宝章を受けられ、同62年12月日本学士院会員になられた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

（医学研究科）

小 川 佳 子 文部技官

文部技官 小川佳子氏は、11月3日逝去された。享年23。

同氏は、平成5年医学部附属病院に就職され、看護婦として看護業務一筋に尽力された。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

（医学部附属病院）

田 中 義 昭 文部技官

文部技官 田中義昭氏は、11月18日逝去された。享年55。

同氏は、昭和39年本学原子炉実験所に就職され、以後ボイラー技士として業務一筋に尽力、永年にわたり原子炉実験所のボイラー施設の運転・保守管理業務に多大の貢献をされた。平成6年には京都大学永年勤続者表彰（30年勤続）を受けられた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

（原子炉実験所）

<コラム>

洛書

この11月、共同
研究の打合せのため
渡英した。目的

地はロンドンから北東へ約100km、鉄道で2時間のところである。研究所は地図にも載っていない小さな村にあった。晩秋を迎えた村は紅葉のさかりで、赤レンガの建物には色とりどりのつたがはえて美しい。また、訪問の途中に立ち寄った町では、家はすべて同じ灰色の石材で造られており、紅葉と見事な調和を保っていた。

しかし、このような、文字どおり絵のような風景の中に立っても、どこか落ち着かなかった。それはどうも自分が石の中にとじこめられたような錯覚に陥っているためであるらしいと気が付いた。そういえば木造住宅の多いアメリカの田舎ではこのような感じを受けた

ことはなかった。木の家で育った我々には、石を異質の物として感じとる本能のようなものが備わっているのかも知れない。

英国に滞在中、やはり気になって木の建物を探したが、とうとう見る機会がなかった。しかし、木を使った建物はいくつか見ることが出来た。訪問先の近くにある、ストラットフォード—アポン—エイボンはシェークスピアが生まれ、晩年を過ごした町として観光の名所となっている。この町のメインロードにあるシェイクスピアの生家は、近くの森から切りだしたオークと近くの町に産する石材を用いてつくられて

いる。この建物の外壁は木の柱を表面に出し、その間はレンガや石材でうめられている。この様式はハーフ・ティンバード構造と呼ばれ、15世紀中頃から17世紀にかけての英国の代表的な建築様式である。この類いの建物はこの町に限らずあちらこちらに見られるが、現在でもまだ使用されている。古きを尊ぶ伝統というべきものであるのだろうか。

ところで、京都大学の木質科学研究所では平成6年に総床面積1,600㎡木造の3階建ての研究棟が竣工した。3階の講義室は宇治地区の各研究所の主催する研究集会や講演会に利用して

いただいている。この建物の居住性は抜群である。床面の柔らかさ、適度の音響などの物理的な心地よさに加えて、木から得られる情緒的な安定感は鉾物でできている建物には

榊 原 正 章

期待できないものである。さらに、当初予想した以上に保温・保湿性に優れていることを示すデータも得られてきている。また、木造建物はコンクリートの建物よりも耐久性に優れている。阪神・淡路大震災では多くの木造家屋が倒壊したが、原因は木材そのものの性質によるものではなかった。

木造の建物は自然科学系以上に人文科学系や管理部門の居住空間として適しているのではないだろうか。京都大学に少しでも木造建築物が増えることを期待している。

(くわはら まさあき 木質科学研究所教授)

木が気になる

日 誌

(1995年11月1日～11月30日)

- | | | | |
|-------|---|---------|--|
| 11月1日 | アメリカ合衆国 科学財団 (NSF) Cora Bagley Marrett 社会経済科学担当次官補 他1名来学, 関係教官と懇談 | 15日 | 国際交流委員会 |
| 2日 | コロンビア共和国 コロンビア大学 PARAMO ROCHA, Guillermo 学長 他1名来学, 関係教官と懇談 | 18日～19日 | 総長候補者の選挙 |
| 4日 | 文学部博物館公開講座「日本近世の医学史と外科書」(以後の日程は, 18日, 25日, 12月2日) | 19日 | 臨時評議会 |
| 14日 | 評議会
◇ 大学院審議会 | 21日 | 総長, 内分泌学会アジア・オセアニアメダル受賞記念特別講演及び学術交流に関する打合せのため連合王国, オランダ王国を訪問 (27日まで) |
| | | 28日 | 評議会
◇ 平成7年度京都大学職員研修監督者(係長級)研修 (12月1日まで) |

『京大広報』に対するご意見について (お願い)

『京大広報』は, 平成8年4月1日号 (第501号) からA4判となり, 月1回の発行とする予定です。

広報委員会では, これを機会に『京大広報』を親しみやすく読みやすいものとするため, 掲載内容についても見直しを行っております。

つきましては, 広く読者の方々からご意見をお聴きし, 編集の参考にさせていただきたいと思えます。

なお, ご意見は, 具体的, 簡潔におまとめいただき, 来年1月10日 (水) までに本委員会 (庶務部広報調査課 内線2070) あてお寄せいただきますようお願いいたします。匿名でも結構です。(ご意見については, 折り込み用紙をご利用下さい。)

現在の主な掲載事項は以下のとおりです。

1. 大学の動き (全学的な公式行事, 栄誉, 部局長の人事等)
2. 部局の動き (新組織・設備の紹介, 記念行事, 公開講座等の報告等)
3. 部局紹介 (部局の研究内容等の紹介)
4. 資料 (全学的な統計資料, 国大協の要望書等)
5. 随想
6. コラム
7. その他

(京都大学広報委員会)